

## 1 本年度の重点目標

(1)確かな学力を育む教育活動の充実 (2)豊かな心を育てる教育の充実(3)健やかな体の育成  
(4)安全・安心の学校づくり (5)信頼関係を基にした開かれた学校づくり

## 2 本年度の経営方針

(1)一人一人の児童を大切にし、その可能性や能力を引き出し伸ばす。(2)校内研修の充実と生き生きとした職場づくりをし、組織体としての教育力を高める。(3)安全・安心で清潔な学校づくりを推進する。(4)地域社会に信頼され、愛される学校を目指す。

## 3 自己評価・学校関係者評価結果

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	B	機会あるごとに経営方針の説明を重ね、保護者への浸透を図る。
	2	保護者への浸透が図られたか。	B	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られた	B	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	B	より効率的な話し合いを行い、計画的な教育実践を行う。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	B	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編成されている	B	教育計画の見直しを行い、実施の担い手である教員の自覚を高めていく。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	B	
4 学年 学級 経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか	B	企画委員会を充実させ、学年主任の研修を進めるとともに、学校課題研修などを通して、若手教員の指導力の向上を図っていく。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	B	
	14	計画的、意図的に学年、学級経営が進められたか。	B	
	15	児童の自己決定の場が多く設定されたか。	B	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	B	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられた	B	
5 学習 指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	B	研修の充実と教室訪問などを通して、教員一人一人の授業力を高め、児童の学力向上に努める。児童が主体的に学習に取り組めるようアクティブラーニングを取り入れた授業を実践する
	19	児童が進んで学ぶ授業の改善がなされたか	B	
	20	基礎的基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	B	
	21	児童の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	B	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な利用がなされたか。	B	
6 選択 教科	23	教員数、施設、設備などの実情に応じたコースの設定がなされたか。		
	24	生徒の個性を生かした学習内容、学習方法の工夫がなされたか。		
7 道徳 教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされた。	B	思いやりの心を育てるために、家庭・地域の理解と協力を得ながら、道徳教育を推進していく。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践された	B	
8 特別 活動	27	全体計画を理解し、生徒の自己決定の場が多く設定された	B	様々な体験活動を通して、人間関係を豊かにしていくとともに、自己実現できる児童の育成に努める。
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施された	B	
	29	児童会活動などの特性が理解され、生徒の自己実現がなされ	B	
	30	奉仕活動の活発化がはかれたか。	B	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
9 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	児童一人一人の成長が見られるような学校行事を計画的に実施していく。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互い協力がなされたか。	B	
10 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	B	幼保小の連携、小中連携教育をさらに充実させ、いじめや不登校のない学校づくりに努める。 職員の共通理解を図り、積極的な生徒指導を行うとともに、組織的で迅速な対応が取れる体制をさらに充実させていく。
	35	職員に共通理解があったか。	B	
	36	カウンセリングマインドに心がけて指導がなされたか。	B	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	B	
	38	基本的な生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	B	
	39	児童が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	B	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	B	
	41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	B	
11 進路 指導	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	B	
	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。		
	44	生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。		
12 保健 ・ 安全 指導	45	家庭との連携が行われたか。		今後も計画的に保健指導を行うとともに、機会あるごとに家庭や地域に対しても啓発活動を行っていく。
	46	保健観察が丁寧に行われた。	A	
	47	児童の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	B	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされているか。	A	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	B	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	B	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	B	
13 職員 会議	52	給食指導が適切になされたか。	B	学校教育目標の具現化を図るべく、さらに建設的で効率的な職員会議を目指す。
	53	開始時刻が守られたか。	A	
	54	問題意識を持って臨めたか。	B	
	55	議案の内容や提案のし方が適切であったか。	B	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	B	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	B	
14 教職 員の 服 務	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	B	何でも話せる風通しの良い職場づくりに努め、倫理確立委員会を充実させ教職員による不祥事や事故の根絶に努める。
	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもとサービスの厳正に努めたか。	B	
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	B	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	A	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たされたか。	B	
15 校 内 研 修	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	B	研修を通して、教員一人一人の資質を向上させ、児童一人一人の学力の向上に努める。家庭での協力が得られるよう啓発活動を行う。
	65	研究主題が生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	B	
	66	研究組織やすすめ方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	B	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	B	
	68	研究の結果、生徒の変容が見られ、生徒のためになったか。	B	
16 施 設 設 備	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	B	施設設備の点検を行い安全確保に努めるとともに、計画的な環境整備を行っていく。瑕疵による事故ゼロを目指す。
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	B	
	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	B	
	73	使用後は施錠等が確実になされしっかり後始末ができたか。	A	
17 学 校 事 務	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	B	おおむね良くできているが、個別に対応し、すべての項目でA評価になるように努める。
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	B	
	76	出勤簿は毎朝、押印されたか。	A	
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	A	
18 P T A 家 庭 地 域	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	B	学校教育目標の具現化を目指し、計画的に地域と連携できるよう努める。
	80	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	
	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	
19 部 活 動	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	B	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	B	
20 総 合	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。		児童や地域の実態に合わせた教育計画の作成と実施を行っていく。
	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	B	
	87	計画に沿って実施できたか。	B	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	B	